



昭和50年2月号

発行所 東郷町役場  
編集人

### 始業日に牧水カルタ大会

## 上の句でハイッ!!

一月八日の始業式の日、坪谷中学校と東郷中学校で「牧水カルタ大会」が開かれました。

坪谷中学校では一年から三年までの三クラスで予選を勝ち抜いた二十一人と先生三人が体育館の畳に正座して三つの円陣でとり合いました。また三グループのほかにも十五人の父母と選手以外の生徒数人が一緒にあったグループが会場、緊張したなかにも和やかなふん囲いでカルタ大会が始まりました。

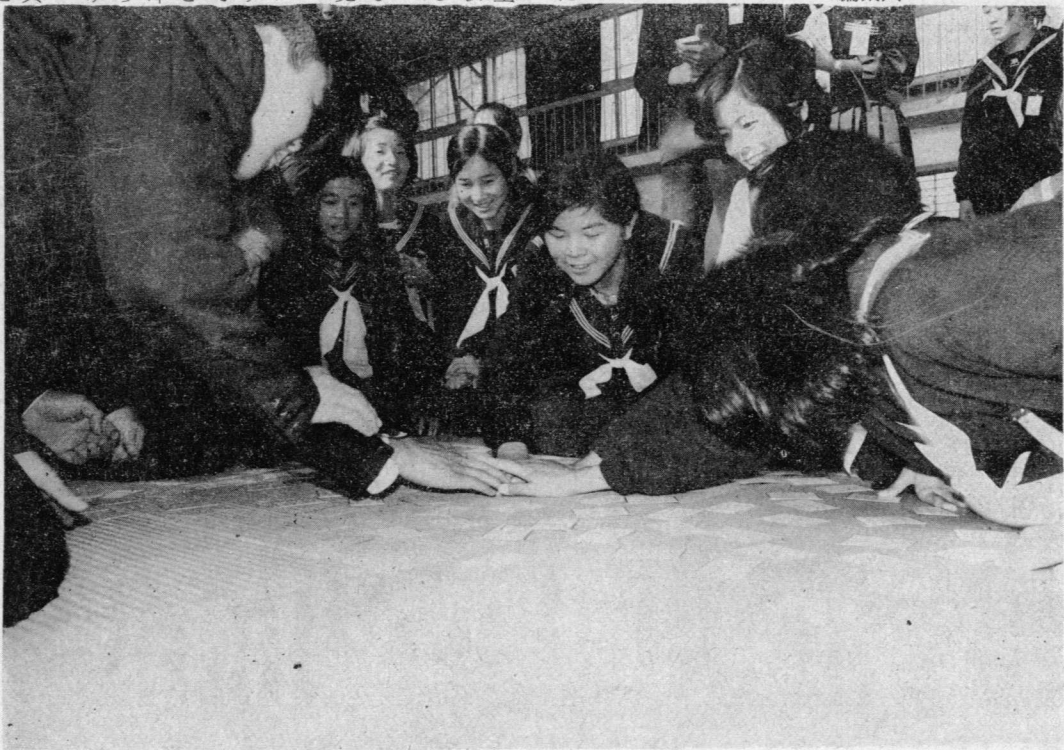
国語担当の河野泰広先生と短歌クラブの二年生那須浩君、川野由紀さんの三人が「白鳥はかなしからずや……」「幾山河越えさきり行かば……」と牧水朗詠調で読みあげると、上の句で「ハイッ」「ハイッ」と勢いよく札を取り合いました。

した。家庭教育学級のお母さんたちもいっしょうけんめいでした。

結局、三十三枚をとった二年生の三浦希人君が優勝、二位は一枚の差で二年生の川島登君が入賞しました。学級対抗では二年生が一位となりましたが、全校生徒とも正月に勉強してほとんどの歌を覚えていました。

このカルタは親思いで、友情にあつく、清貧の中にあつて歌一すじに生きた牧水先生の歌を通じて青少年の情操をゆたかにしようと牧水顕彰会が作ったものです。昨年暮れに作った一千部はたちまち配りつくし、さらに増刷りしなければならぬほど好評です。

牧水カルタの希望者は教育委員会内の牧水顕彰会事務局が牧水記念館へ。一組千三百円(送料別)



第三日曜日(十六日)は家庭の日

……として保存しましょう……○

### 点滴

#### 春さき

冬至がすぎると一日にタ

タミの目ひとつずつ日あしが伸びるといわれていますが、それがはつきり感じられるのは、二月になってからでしょう。

▽牧水カルタが各方面からたいへんな好評をうけています。牧水顕彰会事務局の話では、毎日約十五通の注文の郵便が届いており、多い日には三十通をこえることもあるようです。その三分の二は女性からのもので、遠くは北海道や仙台からも注文があったとのこと。

▽月末から「春の全国火災予防運動」が始まります。この運動は前期の二月二十八日から三月六日までを主として車輛の火災予防とし、後期の三月七日から十三日まで是一般火災予防運動として春さきの火災シーズンを前に各ご家庭の注意をうながします。とくに本町では山林火災に十分注意をいたしましょう。

われも木を伐るひ  
ろきふもとの雑木  
原春日つめたやわ  
れも木を伐る

牧水



坪谷中学校で開かれた新春牧水カルタ大会



# 新春を飾る 消防始式

昭和五十年  
の新春を飾る  
消防始式が、  
一月七日午前  
八時から総合  
グラウンドで  
行なわれまし  
た。

○発水競技の部、優勝Ⅱ第四部  
(羽坂) 二位Ⅱ第二部(福瀬)  
第八部(鶴野内) 三位Ⅱ第十  
部(田野)  
〔個人表彰〕  
▽県知事寺原治幸(第四部長)  
都甲哲郎(総務課長補佐)  
▽県消防協会長小林鍊一(本部  
長) 岩本東(第二部長) 那須勝  
実(第五部長) 黒木福義(第七  
部長) 中野繁司(第八部長)  
伊藤晃(第九部長) 大石敏夫  
(第十部長)

岩倉徳美(第三部) 寺原五男(第  
四部) 片江功(第五部) 山床直  
(第六部) 黒木萌(第七部)  
菊池敏光(第八部) 矢村幸男(第  
九部) 長渡繁美(第十部)  
三好義弘(第十一部)  
▽団長海野修一、吉田重一(本  
部) 橋口要二、高館保(第一部)  
田辺喜広、岩田広信(第二部)  
浜地力、野田正明(第三部)  
黒木英遠、橋口寛(第四部)  
矢野末広、稲田富男(第五部)  
山本達雄、山床八十一(第六部)

黒木鉄男、黒木芳彦(第七部)  
森田隆雄、黒木康夫(第八部)  
村木辰美、松木逸美(第九部)  
稲田喜一、田中保雄(第十部)  
水野夫美雄、大石喜太男(第十  
一部)  
〔感謝状贈呈〕  
昨年発生した追野内の山林火災  
の消火活動に協力するなど、日ご  
ろから消防業務に協力された追野  
内婦人会に、町長から感謝状が贈  
られました。

彦(喜広長男) 平瀬竜也(栄久長  
男) 岩本由起子(東二女)  
〔坪谷小〕十九人 仲深Ⅱ三浦理  
恵(静雄長女) 酒井省二(京一朗  
長男) 水野久美(良人二女) 矢野  
英美(征英長女) 川上由美(岩美  
長女) 中野修(輝男三男) 黒木和  
代(初美長女) 佐々木一也(宣吉  
長男) 大野博(佐織三男) 立山英  
之(忠義縁故者) 阿万末子(貞男  
二女) 岩切政弘(祥二男) 黒木忠  
啓(啓任長男) 那須照章(綱義二男)  
那須恵子(良臣長女) 海野ゆかり  
(純一長女) 三浦修(功二男) 矢  
野勝彦(周長男)

## 新しい一年生

町教育委員会が住民基本台帳に  
基づいて調べた昭和五十年年度に新  
しく小学校に入学する子どもは次  
のとおりです。(昭和四十九年十  
二月三十一日現在調べによる)  
新しく小学校へ入学するのは昭  
和四十三年四月二日から昭和四十  
四年四月一日までに生まれた子ど  
もです。ここに名前のない人は保  
護者が直接、または電話で教育委  
員事務局までお申し出ください  
(東郷小) 三十七人、小野田Ⅱ  
黒木義和(博長男) 寺原敏光(イ  
セ子長男) 都甲牧人(義典長男)  
黒木三代(三郎長女) 松本英治  
(英雄長男) 黒木淳子(里美二女)  
谷本里美(秀男長女) 谷本治平  
(秀男二男) 寺原恵子  
神前設夫(保雄二男)  
▽追野内Ⅱ上田美由起(福十三女)  
山口砂緒里(和行長女) 渦尾善弘

(貞義二男) 黒木博(春美長男)  
山口久美子(岩美二女) 古川幸二  
(虎夫四男) 追野内Ⅱ黒木峰子  
(新長女) 岩倉由香里(武久長  
女) 山田清人(加一三男) 浜地喜久  
代(力長女) 浜田千春(正義二女)  
▽八重原Ⅱ奈須徳二(広行二男)  
矢村幸次(幸雄長男) 稲田悦子  
(茂二女) 稲田美智代(護二女) 伊  
東広文(一義長男) 稲田幸則(幸  
男長男) 田村寿和(寿士長男)  
▽追野Ⅱ寺原元美(萬長女) 黒田  
美保(為正長女) 追野Ⅱ神田祥  
子(征郎二女) 寺原昌昭(昌平長  
男) 寺原俊幸(五男長男) 小林麻  
里(猛二女) 黒木かおり(英遠長  
女) 三原直人(繁明長男)  
▽追野Ⅱ若杉健司(広美長男)  
(福瀬小) 九人 福瀬Ⅱ関野和代  
(和孝長女) 直野公子(直志三  
女) 堂園美由起(定市長女) 長渡  
洋幸(教男長男) 海野陽子(茂長  
女) 糸平太線(一彦長男) 田辺泰

▽下渡川Ⅱ山床平(久二男)  
(寺迫小) 十五人 寺迫Ⅱ橋口佳  
代(征郎長女) 黒木恭子(英任長  
女) 橋口壽人(忠三男) 黒木真由  
美(義彦長女) 橋口宏俊(弘長男)  
橋口章子(克幸長女) 黒木広一  
(政希長男) 黒木恵美子(富春長  
女) 黒木和彦(和義長男) 黒木和  
則(和義二男) 中武美恵(勝挺長  
女) 黒木ゆく代(萌長女) 黒木直  
子(國寛二女) 黒木秀明(新一長  
男) 黒木美佐(茂範長女)  
〔美々津小田之原分校〕二人 野  
別明年(善昭長男) 谷口三喜久  
(勝義三男)

## 成人を祝う

一月五日に、新しくおとなの仲  
間入りをする若い人びとを招いて  
町の成人式をおこないました。  
町では例年二月十五日の「成人  
の日」に成人式  
をしていました  
が、ことしは成  
人者の希望もあ  
って期日を一月五日に変更しまし  
たが、参加者には好評のようでは  
ないが、成人式は当初予定していたよ  
り多い男子四十六人、女子五十四

人の合計百人の成人者が出席、成  
人者を代表して山本建男君(仲深)  
と神部三枝子さん(小野田) が成  
人証書を受けました。そして田代  
百合子さん(寺  
迫) が答辞をの  
べたあと「新  
有権者としての  
自覚」と題して木村逸子さん(小  
野田) の意見発表がありました。  
式後、南那珂郡南郷町の谷口義  
美さんの記念講演がありました。

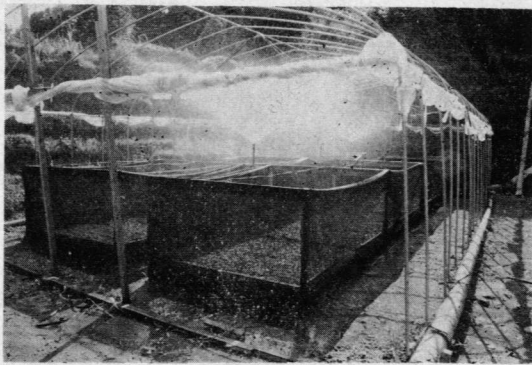
成人式には当初予定していたよ  
り多い男子四十六人、女子五十四

成人式には当初予定していたよ  
り多い男子四十六人、女子五十四

成人式には当初予定していたよ  
り多い男子四十六人、女子五十四

## 花木の苗を試験的に生産 つつじは90%成功

町では近年花木や庭木などの需  
要が高まりつつあることから、そ  
の苗木を試験的に生産してみ、  
成績がよければ一般に奨励するこ  
とになりました。  
昨年の六月に老人福祉館の庭に  
ビニールハウスを設け、九品種の  
つつじ一万本、シャクナゲ、モッ  
コク、月桂樹をそれぞれ三百本苗  
床に芽さしました。  
つつじは九〇%以上は活着しま  
したが、その他は初めてのことで  
で、さし芽の時期が遅れたなどの  
ために成績不良でした。  
つつじはこの五月ごろ本圃に移  
植しますが、ことしも町の条件に  
合った花木などについて、再度さ  
し芽を試みることにしています。



## 香典返しを生かして 寝台と車イスを購入



近年町社会福祉協議会には香典  
返しなど多くの善意が寄せられて  
います。これらの善意を生かすた  
めこのたび寝台二台と車イス四台  
を購入し、からだの不自由な人に  
利用していただくことにしました  
寝台はねたきりのおとしよりの  
ために特別につくられたもので、  
ハンドル操作によってからだがり  
されるようになっていきます。  
また車イスはホームヘルパーや  
家族の人が付添って、無理のない  
程度の屋外散歩をしていただくこ  
うというものです。さっそく第一号  
の車イスが野々崎の大石ナツエさ  
んに貸出され、ご主人の嘉吉さん  
らに付添われ、近くの牧水記念館  
まで散歩を楽しんでいました。

## 郷土のあゆみ (26)

### 十二、大正時代①

#### 崩御(ほうぎよ)になり、大正天

皇が即位されてからの十五年間  
を大正時代と称します。  
大正初年、村は農会と協力し  
て農作物の改良、増収をはかり  
ましたが、農作物特に米麦の価  
格が暴落して、前年まで一・八  
割十八銭だった米価は十銭に下  
落して、農家の経済は非常に苦  
しくなりました。

村は桑苗を無償で配布して桑  
園の増反をはかり、堆肥品評会  
を開催して自給肥料の増産につ  
とめました。一方みかん、な  
し、かきなど果樹苗も奨励しま  
した。しかし多くの農家は自家  
用程度に終わりましたが、鳥川部  
落は原野を開いてみかん園の造  
成に成功しました。

大正四年に寺迫部落の分属が  
問題になり、村会では協議会を  
開いて検討しましたが結論は出  
ませんでした。

大正三年に物産(ぼっばつ)  
した第一次世界大戦の影響で、  
一時はわが国の経済界も混乱

しましたが、大正六年には都市  
も農村も好景気となり、すべて  
の物価は上りました。百八十  
の米が大正六年は十四円台、七  
年二十九円台になり一般大衆  
の生活を圧迫して、大正七年に  
はついに「米騒動」が全国各地  
に起り、本県でも各地で米屋を  
襲って力で米価の引下げを行わ  
せました。  
本村ではいち早く外米五十俵  
を買入れてこれを安価で村民に  
分け、また高森為市氏(現教育  
長の父) が玄米二十俵を村に寄  
付しました。村はこれを村民五  
十一戸にわち与えましたので  
幸い本村では米騒動は起りませ  
んでした。

この年の秋から冬にかけて悪  
性の流行性感冒が大流行して  
薬品は欠乏して薬価はもろろん  
のこと、往診料などが値上りし  
て治療を受け得ない村民も多く  
そのため死亡者も多く悲惨な  
状態を呈しました。村会はこの  
対策として富高の病院の分院設  
置の運動を起しましたが実現し  
ませんでした。

しかし、村民の医療施設が痛  
感され、翌大正八年に村費によ  
る病院を建設して、これを確実  
な経営者に貸与して村民の医療  
の便をはかることとして「東郷  
病院」が建設されました。

### お知らせ



育委員会に準備してありますので直接または、電話で請求されれば郵送します。電話五六五七

### 保育所園児を募集

町立の鶴野内と坪谷保育所でしたいま園児を募集中です。

#### ▼募集人員▲

鶴野内保育所 三十人  
坪谷保育所 六十人

#### ▼入所資格▲

母親が産産、病気、その他の理由によって家庭での保育に欠ける三歳から五歳までの幼児。

#### ▼願書受付▲

入所を希望する幼児の保護者は役場福祉係、保育所に準備してある願書用紙によって、三月十日までにそれぞれの保育所に申し込むこと。

▼入所決定▲  
申込者が定数をこえるときは三月中旬に選考委員会を開いて入所の適否を決定し、各人へ通知。

### 入学前の健康診断

町教育委員会ではこの四月から小学校に入学する児童に対して次の日程で知能テスト、内科検診、種痘接種を行ないます。

▽東郷小 2月14日・午後1時より▽福瀬小 2月20日・午後0時30分より▽坪谷小 2月19日・午後0時30分より▽越表小 2月18日・午後1時より▽寺迫小 2月13日・午後0時30分より

### 殺そ剤をあつせん

二月はねずみ駆除の月間

二月一日から二十八日までの一カ月間、県と市町村の共催で県下いっせいにねずみ駆除運動が行なわれます。

ねずみは伝染病を媒介するばかりでなく、農作物や家屋などにも大きな被害を与えています。ねずみの駆除は地域ぐるみで集団駆除をやるのが最も効果的です。この

期間中に町では「殺そ剤」を特価であつせんしますので、組合長を通じて申し込んでください。価格は一袋八十円で、申込先は住民課保健衛生係です。

### 町営住宅入居者募集

小野田舟戸に建築中の二階建て耐火構造、二DKの町営住宅が近く完成しますので、入居希望者を募集しています。

家賃は一万円程度で、希望者は役場総務課にある申込書により、今月中に申し込んでください。

### 善意のともしび

◆羽坂区の沖田征郎さんから故ケサさんの忌明けに香典返しとして町社会福祉協議会にご寄付いただきました。

ここに慎んで故人のご冥福をお祈りしますとともに厚くお礼を申しあげます。

東郷町社会福祉協議会

### 人口

50年1月1日現在  
(は前月比)

男 3,442人 (+15)  
女 3,658人 (+3)  
総数 7,100人 (+18)  
世帯数 1,798世帯 (+4)

### 戸籍たより

十二月届出分

出生おめでとう

赤ちゃんの名	父の名	部落
直野 志穂	岩生	福瀬
笠瀬 智彦	太	小野田
直野 和紀	己紀男	福瀬
小林 優子	光雄	"
黒木 忍	勝行	寺迫

結婚おめでとう

氏名	名	部落
元直 谷野	勝たえ子	北九州
三浦 浦	千孝 鳥司	仲深
黒木 木	和美 知枝	迫野
寺原 原	忠つ 子男	鶴野内
鈴鹿 美政	美政 枝子	日向市

冥福を祈ります

氏名	年令	部落
長渡 ツル	九四才	福瀬
石田 ケサ	八六	越表
橋口 雅男	七〇	小野田
黒木 久松	六七	羽坂
奈須 松太郎	八一	"
川口 今朝五郎	八二	福瀬